

平成23年11月10日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成23年10月6日付け厚生労働省発食安1006第7号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくフルフェノクスロンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

フルフェノクスロン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼及び魚介類への基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：フルフェノクスロン [Flufenoxuron (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

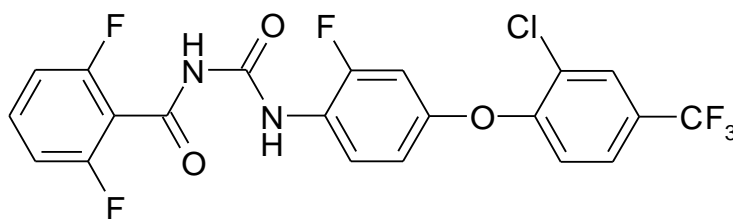
ベンゾイルフェニル尿素系殺虫剤（昆虫成長制御剤）である。幼虫の体内に取り込まれることにより、キチン質の生合成が阻害され、その結果、脱皮が不完全となることにより殺虫効果を示すものと考えられている。

(3) 化学名：

1-[4-(2-chloro- α, α, α -trifluoro-*p*-tolylloxy)-2-fluorophenyl]-3-(2,6-difluorobenzoyl)urea (IUPAC)

N-[[[4-[2-chloro-4-(trifluoromethyl)phenoxy]-2-fluorophenyl]amino]carbonyl]-2,6-difluorobenzamide (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{21}H_{11}ClF_6N_2O_3$
分子量	488.5
水溶解度	0.0043mg/L (25°C)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 4.01$ (25°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

10.0%フルフェノクスロン乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
りんご	ナシハダニ リンゴハダニ	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
	キンモンホソカ ギンモンハモグリカ	2000～4000 倍					
	ハマキムシ類	2000～6000 倍					
	ヨモギエダシヤク	4000 倍					
なし	ハダニ類 ハマキムシ類	2000 倍					
	ハダニ類	4000 倍					
もも	ハダニ類	2000～4000 倍					
	ハマキムシ類	4000 倍					
	モモハモグリカ	2000～4000 倍					
ネクタリン	ハダニ類	2000 倍		収穫 21 日前まで			
	ハマキムシ類	4000 倍					
	モモハモグリカ	2000～4000 倍					
おうとう	ハマキムシ類 ヒメシロモントクガ	4000 倍	収穫 7 日前まで				
かんきつ	ミカンハモグリカ チャノキイロアザミウマ ミカンサビダニ	2000～4000 倍					
	ミカンハダニ	1000～2000 倍					
茶	チャノコカクモンハマキ チャノホソカ チャノミドリヒメヨコハ チャハマキ ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ チャノホコリダニ	4000 倍	200～400 L/10a	摘採 7 日前まで			
キャベツ	コナガ アオムシ タマキシンウリハ ハスモンヨトウ ヨトウムシ ハイダラノメイガ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前まで			
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ						
レタス 非結球レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	4000 倍		収穫 3 日前まで	3 回以内		3 回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数		
だいこん	アオムシ コガ ハイダバラノメイガ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内		
はつか だいこん		4000 倍		収穫 7 日前まで	1 回		1 回		
トマト	マメハモグ [®] リバ [®] エ オタハ [®] コガ [®]	2000～4000 倍		100～300 L/10a	収穫前日まで		4 回以内	4 回以内	
	ミカンキイロアサ [®] ミウマ トマトハモグ [®] リバ [®] エ	2000 倍					2 回以内	2 回以内	
ミニトマト	マメハモグ [®] リバ [®] エ オタハ [®] コガ [®]	2000～4000 倍					2 回以内	2 回以内	
なす	ミナミキイロアサ [®] ミウマ	2000～4000 倍			収穫前日まで		4 回以内	4 回以内	
	マメハモグ [®] リバ [®] エ ハダニ類	2000 倍					3 回以内	3 回以内	
ピーマン ししとう	オタハ [®] コガ [®]	2000 倍					3 回以内	3 回以内	
セルリー	マメハモグ [®] リバ [®] エ コナジラミ類 ハスモンヨトウ	4000 倍			100～300 L/10a		収穫 14 日前まで	3 回以内	3 回以内
パセリ	ハスモンヨトウ						収穫 7 日前まで	1 回	1 回
ねぎ	シロイモジ [®] ヨトウ ネギ [®] ハモグ [®] リバ [®] エ						収穫 14 日前まで	3 回以内	3 回以内
いちご	ハスモンヨトウ ミカンキイロアサ [®] ミウマ						収穫前日まで	3 回以内	3 回以内
きゅうり	ミナミキイロアサ [®] ミウマ						2000～4000 倍	収穫前日まで	4 回以内
	ウリノメイガ [®] トマトハモグ [®] リバ [®] エ	2000 倍					4 回以内		4 回以内
すいか	ミナミキイロアサ [®] ミウマ オタハ [®] コガ [®] マメハモグ [®] リバ [®] エ	2000～4000 倍					収穫 7 日前まで		3 回以内
	シロイモジ [®] ヨトウ	4000 倍	3 回以内			3 回以内			
メロン	ミナミキイロアサ [®] ミウマ	2000～4000 倍	収穫前日まで			3 回以内		3 回以内	
	タバココナジラミ類 (シルバーリーフ コナジラミを含む) トマトハモグ [®] リバ [®] エ	2000 倍		3 回以内		3 回以内			
かぼちゃ	トマトハモグ [®] リバ [®] エ			収穫前日まで					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
しろうり	ウリノメイガ ミナキイロアザミウマ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	1 回	散布	1 回
うり類 (漬物用) (しろうり、 とうがんを 除く)	ミナキイロアザミウマ			収穫 3 日前まで			
てんさい	ヨトウムシ	2000～ 4000 倍	25L/10a	収穫 7 日前まで	4 回以内		4 回以内
	テンサイモグリハバエ カメノコハムシ ナミダダニ アシゲロハモグリハバエ	4000 倍					
	ヨトウムシ	1000 倍					
アスパラガス	ハスモンヨトウ オタハコガ	4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内		2 回以内
しゅんぎく	マメハモグリハバエ アザミウマ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2000～4000 倍		収穫 7 日前まで	2 回以内		2 回以内
にがうり	マメハモグリハバエ ウリノメイガ アザミウマ類			収穫前日まで	4 回以内		4 回以内
なばな類	ヨトウムシ類 ハモグリハバエ類			収穫 21 日前まで	3 回以内	3 回以内	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数	
ほうれんそう	ハスモンヨトウ マハモグリバエ シロホノメイガ ホウレンソウケガコダニ アシグロハモグリバエ	4000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内	
さやえんどう	シロイチモジヨトウ	2000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内	
そらまめ	マハモグリバエ				3回以内		3回以内	
さやいんげん					2回以内		2回以内	
未成熟 そらまめ					3回以内		3回以内	
実えんどう	シロイチモジヨトウ				4000倍		収穫7日前まで	2回以内
だいず えだまめ	ハスモンヨトウ	収穫前日まで						
未成熟 ささげ				3000倍				
未成熟 ふじまめ	4000倍							
きく(葉)	アザミヤカ類	4000倍		収穫7日前まで	1回		1回	
みつば	ハダニ類 キアゲハ	2000倍		収穫7日前まで 但し、伏せ込み 栽培は伏せ込 み前まで	2回以内		2回以内	
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	4000倍		収穫7日前まで	3回以内		散布、但し 花穂の発生 期にはマルチ フィルム被覆 により散布液 が直接花穂 に飛散しな い状態で使 用する	3回以内
みょうが (花穂)		2000倍		収穫前日まで				
みょうが (茎葉)		2000倍		みょうが(花 穂)の収穫前 日まで 但し、花穂を 収穫しない場 合にあつては 開花期終了ま で				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数	
食用さくら(葉)	アザミウマ類	4000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前まで	2回以内	散布	2回以内	
くきちしゃ	ハスモンヨトウ オオタバコガ			3回以内	2回以内		2回以内	2回以内
しそ科葉菜類 (バジルを除く)	ハスモンヨトウ			2回以内				
バジル	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ				2回以内		2回以内	2回以内
食用トレニア タラゴン	ハスモンヨトウ			収穫 7 日前まで				
チャービル ゆきのした ディル(葉)				収穫 7 日前まで				
つるむらさき				収穫 前日まで				
とうがん	シキイロアザミウマ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前まで	3回以内		3回以内	
食用ぎく	マメハモグリバエ シキイロアザミウマ			収穫 7 日前まで	2回以内		2回以内	
甘長とうがらし	シキイロアザミウマ	4000 倍	100～300 L/10a	収穫 前日まで	3回以内		3回以内	
食用ミニバラ	シキイロアザミウマ	2000 倍		収穫 3 日前まで	2回以内		2回以内	
しそ(花穂)	ハスモンヨトウ	4000 倍		収穫 7 日前まで				
ふだんそう								

作物名	適用病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数	
あずき	ナミダダニ	4000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内	
かんしょ	ハスモンヨトウ			収穫 3 日前まで				
にんじん	ヨウムシ			収穫 14 日前 まで				
すもも	クムシ類	2000 倍		収穫 14 日前 まで	3 回以内		3 回以内	
わさびだいこん	コガ	2000～ 4000 倍						
非結球あぶらな 科葉菜類	コガ アオムシ マメハモグリバエ	2000 倍		収穫 7 日前まで	2 回以内		2 回以内	
せり科葉菜類 (みつば、パセリ、 セルリーを除く)	ハスモンヨトウ	4000 倍		収穫 7 日前まで 但し、伏せ込み 栽培は伏せ込 み前まで				
みつば	ハスモンヨトウ ダニ類 キアゲハ	2000 倍		収穫 7 日前まで				1 回
パセリ	ハスモンヨトウ	4000 倍		収穫 7 日前まで	1 回		3 回以内	3 回以内
セルリー	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ コナジラミ類			収穫 14 日前 まで				
未成熟 とうもろこし	アヲメイガ	2000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内	2 回以内			
モロヘイヤ	ハスモンヨトウ	4000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内	2 回以内			

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

フルフェノクスロン

② 分析法の概要

試料からアセトン又はジクロロメタンで抽出・濃縮後、ヘキサンに溶解し、アセトニトリルへ分配する。フロリジルカラム及びシリカゲルカラムで精製後、高速液体クロマトグラフ (UV) で定量する。

定量限界 0.002～0.4 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については、別紙1を参照。

4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数（BCF：Bioconcentration Factor）から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が非水田においてのみ使用されることから、非水田 PECtier1^{注2)}を算出したところ、0.011ppb となった。

(2) 生物濃縮係数

¹⁴C-標識フルフェノクスロンを用い、60日間の取込期間を設定したニジマスの魚類濃縮性試験が実施された（濃度 34～53ng/L）。フルフェノクスロンの分析結果から BCF_k^{注3)} = 25920 と算出された。

(3) 推定残留量

(1)及び(2)の結果から、フルフェノクスロンの水産動植物被害予測濃度:0.011ppb、BCF：25920 とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.011 \text{ ppb} \times (25920 \times 5) = 1425.6 \text{ ppb} \div 1.43 \text{ ppm}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

注3) BCF_k：被験物質の取込速度定数と排泄速度定数から求められた BCF。

(参考)：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

5. ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフルフェノクスロンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：3.7 mg/kg 体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) 混餌投与

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 1年間

安全係数：100

ADI : 0.037 mg/kg 体重/day

マウスの発がん性試験で肝細胞癌及び血管系腫瘍の増加が認められた。肝細胞癌については、用量相関性がなく、肝細胞癌と腺腫との合計では対照群との間に有意差が認められないこと、肝・複製 DNA 合成試験が陰性であったこと、発現頻度が背景データ範囲内であること、一方対照群の発現率が背景データの範囲を下回ったこと等により、フルフェノクスロン投与によるものではないと考えられた。血管系腫瘍の増加は、マウスの背景病変の一つであり、フルフェノクスロン投与の影響ではないと考えられた。

(食品安全委員会の農薬評価書フルフェノクスロン (第2版) P38 より抜粋)

なお、評価に供された遺伝毒性試験の *in vitro* 試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め *in vivo* 試験では陰性の結果が得られたので、フルフェノクスロンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

6. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国において乳に、EUにおいて柑橘類、仁果類等に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

フルフェノクスロンとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてフルフェノクスロン (親化合物のみ) を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限の量まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のフルフェノクスロンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量 (推定1日摂取量 (EDI)) のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	16.1
幼小児 (1~6歳)	29.7
妊婦	13.3
高齢者 (65歳以上)	17.2

注) 個別の作物残留試験成績等がある食品についてはEDI試算、それ以外の食品についてはTMDI試算を行った。

TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

フルフェノクスロン 作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 500L/10a	1回	13, 20, 29日	圃場A: 0.193 (1回, 29日)
					14, 21, 28日	圃場B: 0.092 (1回, 21日)
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 500L/10a	2回	13, 20, 29日	圃場A: 0.342 (2回, 29日)
					14, 21, 28日	圃場B: 0.231 (2回, 28日)
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 400L, 600L/10a	1回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A: 0.146 圃場B: 0.143
					14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A: 0.265 圃場B: 0.228
りんご (可食部)	1	10%乳剤	2000倍散布 600L/10a	1回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A: 0.19
					14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A: 0.20 (2回, 30日)
なし (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 240L, 500L/10a	1回	14, 21, 30日	圃場A: 0.076 圃場B: 0.050 (1回, 21日)
					14, 21, 30日	圃場A: 0.088 圃場B: 0.144
もも (果肉)	2	10%乳剤	2000倍散布 400, 300L/10a	1回	14, 21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
					14, 21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
温州みかん (果肉)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.025 圃場B: 0.020 (1回, 14日)
温州みかん (果皮)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 4.17 (2回, 14日) 圃場B: 1.80
温州みかん (果実)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.629 (2回, 14日) 圃場B: 0.313
夏みかん (果肉)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L, 900L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.053 (2回, 14日) 圃場B: 0.030 (2回, 7日) (#) ^{注2)}
夏みかん (果皮)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L, 900L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 1.32 (2回, 14日) 圃場B: 1.1 (2回, 7日) (#)
茶 (荒茶)	2	10%乳剤	4000倍散布 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A: 6.63 圃場B: 7.66
					7, 14日	圃場A: 7.94 圃場B: 7.22
茶 (浸出液)	2	10%乳剤	4000倍散布 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A: 0.05 圃場B: 0.08
					7, 14日	圃場A: 0.06 圃場B: 0.06
キャベツ (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 100-180L, 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.038
					7, 13日	圃場B: 0.022 (2回, 13日) (#)
キャベツ (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 100-180L, 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A: 0.050 (4回, 14日) (#)
					7, 13日	圃場B: 0.032 (4回, 13日) (#)
はくさい (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.145 圃場B: 0.019
					7, 14日	圃場A: 0.134 (4回, 14日) (#) 圃場B: 0.200 (4回, 14日) (#)
はくさい (葉球)	4	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.052 圃場B: 0.020 圃場C: 0.026 圃場D: 0.004
					7, 14日	圃場A: 0.288 (4回, 14日) (#) 圃場B: 0.028 (4回, 14日) (#) 圃場C: 0.168 (4回, 14日) (#) 圃場D: 0.008 (4回, 14日) (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
はくさい (葉球)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A: 0.075 圃場B: 0.018
はくさい (葉球)		10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.042 圃場B: 0.015
メロン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14日	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
てんさい (根部)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A: 0.069 圃場B: 0.030
てんさい (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A: 3.40 圃場B: 8.20
おうとう (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 300, 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A: 0.09(1回, 14日) 圃場B: 0.48
おうとう (果実)		10%乳剤	4000倍散布 300, 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.11(2回, 14日) 圃場B: 0.66
トマト (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	2回	1日	圃場A: 0.08 圃場B: 0.10
トマト (果実)		10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.10 圃場B: 0.14(3回, 7日)
トマト (果実)		10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	4回	1日	圃場A: 0.11 圃場B: 0.14
いちご (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	1日	圃場A: 0.04 圃場B: 0.08
いちご (果実)		10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.06 圃場B: 0.14
大根 (根)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A: 0.01 圃場B: 0.02(2回, 13日) (#)
大根 (根)		10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A: 0.02 圃場B: 0.02(3回, 13日) (#)
大根 (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A: 2.02 圃場B: 0.32(2回, 13日) (#)
大根 (葉)		10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A: 2.46 圃場B: 0.44(3回, 13日) (#)
セロリ (茎)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A: 0.22(2回, 14日) (#) 圃場B: 0.73(2回, 14日) (#)
セロリ (茎)		10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A: 0.28(2回, 14日) (#) 圃場B: 0.97(2回, 14日) (#)
セロリ (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A: 2.00(2回, 14日) (#) 圃場B: 5.58(2回, 14日) (#)
セロリ (葉)		10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A: 2.55(2回, 14日) (#) 圃場B: 8.12(2回, 14日) (#)
セロリ (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A: 0.68(2回, 14日) (#) 圃場B: 2.09(2回, 14日) (#)
セロリ (茎葉)		10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A: 0.85(2回, 14日) (#) 圃場B: 3.19(2回, 14日) (#)
葉ねぎ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.88 圃場B: 0.12
葉ねぎ (茎葉)		10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	14, 21日	圃場A: 1.52 圃場B: 0.10
深ねぎ (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A: 0.159(4回, 14日) (#) 圃場B: 1.04(4回, 14日) (#)
なす (果実)	2	10%乳剤	1000倍散布 250L, 200-250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.18(4回, 1日) (#) 圃場B: 0.68(4回, 1日) (#)
すいか (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A: 0.03(4回, 14日) 圃場B: <0.01
アスパラガス (茎)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L, 280L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.14 圃場B: 0.15
しゅんぎく (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 160L/10a	2回	3, 7, 14日 7, 14, 21日	圃場A: 5.60 圃場B: 3.27

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
しゅんぎく (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 160L/10a	3回	3, 7, 14日 7, 14, 21日	圃場A: 7.24(3回, 7日) (#) 圃場B: 2.91(3回, 7日) (#)
チンゲンサイ (茎葉)	1	10%乳剤	1000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 2.48(2回, 7日) (#)
チンゲンサイ (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.46
ピーマン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.34 圃場B: 0.50
こまつな (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 100L/10a	1回	3, 7日	圃場A: 2.2 圃場B: 0.81
こまつな (茎葉)		10%乳剤	2000倍散布 100L/10a	2回	3, 7日	圃場A: 3.08 圃場B: 0.61
未成熟えんどう (さや)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L, 294L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.36 圃場B: 0.30
未成熟そらまめ (子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01 圃場B: 0.02
そらまめ (乾燥子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.03 圃場B: <0.01
きゅうり (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 185-300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.14 圃場B: 0.13
ほうれんそう (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L, 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A: 3.90 圃場B: 4.53
レタス (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 285L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A: 0.16(3回, 7日) 圃場B: 0.48
みずな (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 10, 14日	圃場A: 3.26 圃場B: 1.82
みずな (茎葉)		10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 10, 14日	圃場A: 3.17 圃場B: 2.68
未成熟いんげん (さや)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 150L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A: 0.48 圃場B: 0.39
しろな (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 2.19
しろな (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 1.20
みつば (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 5.88 圃場B: 3.80
パセリ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A: 4.80 圃場B: 3.25
だいず (乾燥子実)	2	10%乳剤	1000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.064(2回, 14日) (#) 圃場B: 0.047(2回, 14日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
えだまめ (さや)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A: 1.09 圃場B: 1.54
ネクタリン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 270L, 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.18(2回, 28日) 圃場B: 0.22
未成熟ささげ (実)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.1 圃場B: 0.3
ミニトマト (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.19(2回, 7日) 圃場B: 0.10(2回, 3日)
ししとう (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 307L, 350L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 1.14(3回, 3日) (#) 圃場B: 0.49(3回, 1日) (#)
ブロッコリー (花蕾)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 1.59(2回, 7日) (#) 圃場B: 0.20(2回, 7日) (#)
みょうが (花蕾)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.04 圃場B: <0.04
未成熟ふじまめ (果実)	2	10%乳剤	3000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.3(2回, 3日) 圃場B: 0.3

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かぼちゃ (果実)	1	10%乳剤	2000倍散布 170L/10a	3回	1, 8, 15日	圃場A:0.04(3回, 8日)
かぼちゃ (果実)		10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.02(4回, 1日)(#)
しろうり (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
リーフレタス (茎葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:2.34(4回, 1日)(#)(\$)
リーフレタス (茎葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.22
サラダ菜 (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150-200L, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.6 圃場B:1.8
すだち (果実)	1	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	6, 14, 21日	圃場A:0.60(2回, 14日)
かぼす (果実)	1	10%乳剤	1000倍散布 640L/10a	2回	7, 14, 20日	圃場A:0.38
わさびだいこん (花蕾)	2	10%乳剤	4000倍散布 120L/10a	3回	21, 28, 45日	圃場A:0.03 圃場B:0.07
食用さくら (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:2.74 圃場B:3.08
しそ (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:5.54 圃場B:4.73
くきちしゃ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.22 圃場B:0.26
バジル (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.50 圃場B:3.10
食用トレニア (花)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.45 圃場B:1.70
はっか (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.60 圃場B:3.21
ゆきのした (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 100L, 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.08 圃場B:3.50
チャービル (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.37 圃場B:5.50
つるむらさき (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.64 圃場B:2.66
とうがん (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 255L, 267L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.09(3回, 7日) 圃場B:0.12(3回, 7日)
食用ぎく (花)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.9 圃場B:1.0
甘長とうがらし (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.4 圃場B:<0.2
はつかだいこん (根)	4	10%乳剤	4000倍散布 100L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.02
はつかだいこん (葉)	4	10%乳剤	4000倍散布 100L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:3.1 圃場B:2.3
食用ミニバラ (花)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 240L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.9 圃場B:1.1
しそ(花穂) (花)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.4(3回, 7日)(#)
しそ(花穂) (花)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.4
ふだんそう (葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.4(3回, 7日)(#)
ふだんそう (葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.4
タラゴン (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.0 圃場B:4.1

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ディル (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 1.2 圃場B: 0.8
てんさい (根)	2	10%乳剤	1000倍散布 25L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A: <0.05 圃場B: <0.05
わさびだいこん (根)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A: 0.05 圃場B: 0.03
かんしょ (塊根)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
にんじん (根)	3	10%乳剤	4000倍散布 200L, 250L, 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.04 (2回, 14日) 圃場B: 0.02
					1, 3, 7, 14日	圃場C: <0.01
あずき (乾燥子実)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
すもも (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 400L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.03 (2回, 14日) (#) 圃場B: 0.03 (2回, 28日) (#)
未成熟とうもろこし (子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

(\$):リーフレタスの圃場Aにおける試験については、定められた適用回数を超えて試験がなされているが、第1回目散布の20分後に降雨があり、再散布した結果によるものであることから、基準値策定の根拠とした。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
とうもろこし	0.05		申			<0.01, <0.01
大豆	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
小豆類	0.05		申			<0.01, <0.01
そら豆	0.2	0.2	○			0.03, <0.01
かんしょ	0.02		申			<0.005, <0.005
てんさい	0.5	0.5	○			
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.1	0.1	○			0.02, 0.02(はつかだいこん(根))
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10	10	○			3.1(\$), 2.3(はつかだいこん(葉))
西洋わさび	0.2	0.05	○・申			0.05, 0.03 0.145(\$), 0.019, 0.052, 0.020, 0.26, 0.004
はくさい	0.5	0.5	○			
キャベツ	0.5	0.5	○			
芽キャベツ	0.5	0.5	○			(こまつな、きょうな及びチャービル参照)
ケール	10		申			3.08(\$), 0.81
こまつな	10	10	○			3.26(\$), 2.68(みずな)
きょうな	10	10	○			2.48(\$), 0.46
チンゲンサイ	5	5	○			1.59(\$), 0.20
ブロッコリー	5	5	○			2.19, 1.20(しろな)
その他のあぶらな科野菜	5	5	○			
しゅんぎく	10	10	○			5.60, 3.27
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	10	10	○			3.6(\$), 1.8(サラダ菜)
その他のきく科野菜	2	2	○			0.9, 1.0(食用ぎく)
ねぎ(リーキを含む。)	10	10	○			1.52, 0.12(葉ねぎ)
アスパラガス	0.5	0.5	○			0.14, 0.15
わけぎ	10	10	○			
にんじん	0.2		申			0.04(\$), 0.02, <0.01
パセリ	10	10	○			4.80, 3.25
セロリ	10	10	○			0.85(\$), 3.19(\$)
みつば	10	10	○			5.88, 3.80
その他のせり科野菜	10		申			(パセリ、セロリ及びみつば参照)
トマト	0.5	0.5	○			0.11, 0.14(トマト) , 0.19, 0.10(ミニトマト)
ピーマン	1	1	○			0.34, 0.50
なす	2	2	○			0.18(\$), 0.68(\$)
その他のなす科野菜	3	3	○			1.14(\$), 0.49(\$)(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	2	2	○			0.14, 0.13
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.2	0.2	○			0.04, 0.02(\$)
しろりり	0.3	0.3	○			<0.05, <0.05
すいか	0.2	0.2	○			0.03(\$), <0.01
メロン類果実	0.02	0.02	○			<0.005, <0.005
その他のうり科野菜	0.5	0.5	○			0.09, 0.12(とうがまん)
ほうれんそう	10	10	○			3.90, 4.53
未成熟えんどう	1	1	○			0.36, 0.30
未成熟いんげん	1	1	○			0.48, 0.39
えだまめ	5	5	○			1.09, 1.54(\$)
その他のきのこ類	0.1	0.1				
その他の野菜	10	10	○			4.08, 3.50(ゆきのした)
みかん	0.3	0.3	○			0.025, 0.020
なつみかんの果実全体	2	2	○			
レモン	2	2	○			
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○			
グレープフルーツ	2	2	○			
ライム	2	2	○			
その他のかんきつ類果実	2	2	○			0.60(\$)(すだち), 0.38(かぼす)
りんご	1	1	○			0.342(\$), 0.231, 0.265, 0.228, 0.20
日本なし	0.5	0.5	○			0.088, 0.144
西洋なし	0.5	0.5	○			(日本なし参照)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
もも	0.1	0.1	○			
ネクタリン	0.7	0.7	○			
すもも(ブルーンを含む。)	0.2		申			0.03(#), 0.03(#)
おうとう(チェリーを含む。)	2	2	○			0.11, 0.66(\$)
いちご	0.5	0.5	○			
ぶどう	2	2				
綿実	0.03	0.03				
茶	15	15	○			7.94,7.66
その他のスパイス	10	10	○			4.17(\$),1.80(みかんの果皮)
その他のハーブ	10	10	○			4.37, 5.50(チャービル)
魚介類	2		申			推:1.4

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

(別紙3)

フルフェノクスロン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
とうもろこし	0.05	0.01	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
大豆	0.05	0.01	2.8	0.6	1.7	0.3	2.3	0.5	2.9	0.6
小豆類	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
そら豆	0.2	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
かんしょ	0.02	0.005	0.3	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
てんさい	0.5	● 0.5	2.3	2.3	1.9	1.9	1.7	1.7	2.0	2.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.1	0.02	4.5	0.9	1.9	0.4	2.9	0.6	5.9	1.2
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	10	2.7	22.0	5.9	5.0	1.4	9.0	2.4	34.0	9.2
西洋わさび	0.2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.5	0.0833	14.7	2.4	5.2	0.9	11.0	1.8	15.9	2.6
キャベツ	0.5	● 0.5	11.4	11.4	4.9	4.9	11.5	11.5	10.0	10.0
芽キャベツ	0.5	● 0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
ケール	10	● 10	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
こまつな	10	1.945	43.0	8.4	20.0	3.9	16.0	3.1	59.0	11.5
きょうな	10	2.97	3.0	0.9	1.0	0.3	1.0	0.3	3.0	0.9
チンゲンサイ	5	1.47	7.0	2.1	1.5	0.4	5.0	1.5	9.5	2.8
ブロッコリー	5	0.895	22.5	4.0	14.0	2.5	23.5	4.2	20.5	3.7
その他のあぶらな科野菜	5	1.695	10.5	3.6	1.5	0.5	1.0	0.3	15.5	5.3
しゅんぎく	10	4.435	25.0	11.1	6.0	2.7	19.0	8.4	37.0	16.4
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	10	2.7	61.0	16.5	25.0	6.8	64.0	17.3	42.0	11.3
その他のさく科野菜	2	0.95	0.8	0.4	0.2	0.1	1.0	0.5	1.4	0.7
ねぎ (リーキを含む。)	10	0.82	113.0	9.3	45.0	3.7	82.0	6.7	135.0	11.1
アスパラガス	0.5	0.145	0.5	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	0.4	0.1
わけぎ	10	● 10	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	3.0
にんじん	0.2	0.023	4.9	0.6	3.3	0.4	5.0	0.6	4.5	0.5
パセリ	10	4.025	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4
セロリ	10	2.02	4.0	0.8	1.0	0.2	3.0	0.6	4.0	0.8
みつば	10	4.84	2.0	1.0	1.0	0.5	1.0	0.5	2.0	1.0
その他のせり科野菜	10	● 10	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	3.0
トマト	0.5	0.135	12.2	3.3	8.5	2.3	12.3	3.3	9.5	2.6
ピーマン	1	0.42	4.4	1.8	2.0	0.8	1.9	0.8	3.7	1.6
なす	2	0.43	8.0	1.7	1.8	0.4	6.6	1.4	11.4	2.5
その他のなす科野菜	3	0.815	0.6	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.9	0.2
きゅうり (ガーキンを含む。)	2	0.135	32.6	2.2	16.4	1.1	20.2	1.4	33.2	2.2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.2	0.03	1.9	0.3	1.2	0.2	1.4	0.2	2.3	0.3
しろうり	0.3	0.05	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
すいか	0.2	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.5	0.105	0.3	0.1	0.1	0.0	1.2	0.2	0.4	0.1

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ほうれんそう	10	4.215	187.0	78.8	101.0	42.6	174.0	73.3	217.0	91.5
未成熟えんどう	1	0.33	0.6	0.2	0.2	0.1	0.7	0.2	0.6	0.2
未成熟いんげん	1	0.435	1.9	0.8	1.2	0.5	1.8	0.8	1.8	0.8
えだまめ	5	1.315	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他のきのこ類	0.1	● 0.1	1.0	1.0	0.4	0.4	0.8	0.8	1.0	1.0
その他の野菜	10	3.79	126.0	47.8	97.0	36.8	96.0	36.4	122.0	46.2
みかん	0.3	0.0225	12.5	0.9	10.6	0.8	13.7	1.0	12.8	1.0
なつみかんの果実全体	2	● 2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
レモン	2	● 2	0.6	0.6	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	2	● 2	0.8	0.8	1.2	1.2	1.6	1.6	0.4	0.4
グレープフルーツ	2	● 2	2.4	2.4	0.8	0.8	4.2	4.2	1.6	1.6
ライム	2	● 2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他のかんきつ類果実	2	0.49	0.8	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	1.2	0.3
りんご	1	0.253	35.3	8.9	36.2	9.2	30.0	7.6	35.6	9.0
日本なし	0.5	0.116	2.6	0.6	2.2	0.5	2.7	0.6	2.6	0.6
西洋なし	0.5	● 0.5	0.05	0.1	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1
もも	0.1	● 0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.4	0.0	0.0
ネクタリン	0.7	● 0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
すもも (ブルーンを含む。)	0.2	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
おうとう (チェリーを含む。)	2	0.385	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
いちご	0.5	● 0.50	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
ぶどう	2	● 2	11.6	11.6	8.8	8.8	3.2	3.2	7.6	7.6
綿実	0.03	● 0.03	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	15	7.8	45.0	23.4	21.0	10.9	52.5	27.3	64.5	33.5
その他のスパイス	10	2.985	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3
その他のハーブ	10	4.935	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5
魚介類	2	0.43	188.2	40.8	85.6	18.6	188.2	40.8	188.2	40.8
計			1040.1	316.8	545.3	173.4	882.4	274.0	1135.3	345.2
ADI比 (%)			52.7	16.1	93.3	29.7	42.9	13.3	56.6	17.2

TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI：推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

高齢者及び妊婦については水産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

なお、グループで基準値が設定されている作物については、根拠となった作物以外についてはTMDI試算を行った。

(参考)

これまでの経緯

平成 5 年 1 1 月 8 日	初回農薬登録
平成 1 6 年 7 月 2 0 日	農林水産省より厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：大豆、えだまめ等）
平成 1 6 年 8 月 3 日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成 1 8 年 3 月 1 7 日	農林水産省より厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ミニトマト、ブロッコリー、かぼちゃ等）
平成 1 8 年 7 月 1 8 日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成 1 9 年 4 月 1 9 日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成 1 9 年 1 0 月 2 6 日	残留農薬基準告示
平成 2 2 年 6 月 9 日	農林水産省より厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：あずき、かんしょ、西洋わさび、ケール、にんじん、すもも等）並びに魚介類に係る基準値設定依頼
平成 2 2 年 6 月 1 8 日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成 2 3 年 6 月 2 3 日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成 2 3 年 1 0 月 6 日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成 2 3 年 1 0 月 1 4 日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当専門研究員
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐藤 清	財団法人残留農薬研究所理事・化学部長
高橋 美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山 敏廣	東京都健康安全研究センター食品化学部長
廣野 育生	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
松田 りえ子	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
宮井 俊一	社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長

由田 克士 大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一 東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授
鱈渕 英機 大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授
(○：部会長)